

＊コード・きこえない、またはきこえにくい親を持つ聴者の子供

親子の物語が、そしてひとりのコードの心の軌跡が、点描のように紡がれていく――。監督は、本作が9年ぶりの長編作品となる、『そのみにて光輝く』『きみはいい子』の呉美保。作家・五十嵐大氏の自伝的エッセイを原作に、脚本は『正欲』の港岳彦。吉沢亮が、“きこえる世界”と“きこえない世界”を行き来しながら生きる主人公を体現、自身の居場所を見出していく若者の心を繊細に演じた。母・明子役には、ろう者俳優として活躍する忍足亜希子。

やがて母への想いが観る者の胸にも静かに温かく満ちていく、心に響く映画が誕生した。



母と息子、切なくも心に響く家族の物語

Story

宮城県の小さな港町、五十嵐家に男の子が生まれた。祖父母、両親は、“大”と名付けて誕生を喜ぶ。ほかの家庭と少しだけ違っていたのは、両親の耳がきこえないこと。幼い大に

としては、大好きな母の“通訳”をすることも“ふつう”の楽しい日常だった。しかし次第に、周りから特別視されることに戸惑い、苛立ち、母の明るささえ疎ましくなる。心を持って余したまま20歳になり、逃げるように東京へ旅立つ大だったが……。



映画「ぼくが生きてる、ふたつの世界」 胎内市上映会

< 各30分前開場 >

① 10:00-11:45

② 13:30-15:15

令和8年

9月12日 土

会場

胎内市産業文化会館

胎内市役所のすぐ隣

- ・「中条IC」から産業文化会館まで車で約10分
- ・または新潟方面から「胎内スマートIC」より約6分
- ・JR中条駅から産業文化会館まで車で約5分。徒歩約20分

入場料金

前売券 一般・シニア・大学生 1,200円

当日券 一般・シニア 1,500円
大学生 1,300円 小中高生 800円

前売り券
7月22日(水)
発売開始



詳しいアクセスは
こちらをご確認
ください



問い合わせ先

胎内市産業文化会館

TEL 0254-43-6400

FAX 0254-43-5040

【プレイガイド】胎内市産業文化会館 【主催】胎内市教育委員会